

令和3年度 釜石商工高等学校 第1回学校評議員会

令和3年6月17日(木) 15:00~16:15 大会議室

出席者：学校評議員4名(欠席1名)、校長以下職員10名

1 開会のことば

2 学校長挨拶

3 学校評議員、職員自己紹介

4 学校概要説明

(1) 学校経営方針について

- ・少子化による中学校卒業生の減少が、今年度の入学生の数にも影響している。
- ・教員の授業力向上を目指し、今年度より全教員が研究授業を実施するとともに、互見授業の参加率100%達成を指標としている。
- ・生徒の自己肯定感を高めることを目標に、心身の錬磨と道德教育の充実を図る。
- ・県の魅力化促進事業と、釜石市の取り組みである釜石コンパスを活用し、キャリア教育の充実と地域連携による人材育成。
- ・特に、個々の生徒への支援を積極的に推進する学校でありたい。

(2) 各分掌から

【総務部】

- ・昨年配布された「いわての復興教育副読本」の活用について、いざという時に行動できる力を育むべく、避難訓練等で活用していきたい。
- ・PTA活動実施の有無については、その都度コロナの状況をみながら決めていきたい。

【教務部】

- ・来年度の入学生から、新学習指導要領に沿った学習がスタートする。また教育課程の編成も来年度より始まる。
- ・教員間の互見授業を通して、指導力の向上に結びつける。
- ・Wi-Fi、タブレットの導入によるICTを活用した授業の実践を進める。

【生徒指導部】

- ・規範意識の育成と基本的生活習慣の確立を目標とし、整容点検を毎月1回各学年、各科、担任、部活動など、あらゆる場面で実施していく。
- ・自転車による交通事故が昨年数件発生しており、安全指導を徹底していく。
- ・高架橋下における、自動車での送迎についても、生徒のみならず保護者へもルール遵守を周知し続けていく。
- ・いじめの未然防止と早期発見の為、4回/年のアンケートを実施していく。
- ・生徒会活動や学校行事については、感染対策を徹底し、校内放送の活用や実施方法を模索するなど、出来るだけ実施できるようにする。
- ・部活動の統廃合については、合同チームの出場を認め、部活動の更なる活性化を目指したい。

【進路指導部】

- ・企業見学やインターシップへの支援等、他機関との接触がコロナにより中止になったり、実施されなくなった場合、どのようにキャリア教育を実践していくかが悩ましい。
- ・常に新しい情報は教員・生徒と共有していく。
- ・進路未定者が非常に多く、担任・保護者・生徒との連携強化に向けた、働きかけの強化。

【保健厚生部】

- ・例年の活動に加え、コロナ対策の啓蒙活動に力を入れている。(昨年よりアルコール自動噴霧機、トイレや流し場に自動ハンドソープ機器、空気清浄機の設置、朝の検温実施などを進めた)。

【教育相談部】

- ・年々、多様な悩みを抱える生徒が増えており、職員の情報共有の他、外部機関との連携を図りながら支援に努める。
- ・職員の校内研修を実施していく。

以下、副校長よりまとめて

【図書部】

- ・昨年中止になった芸術鑑賞会は9月に実施予定。
- ・商工新聞の発行を活発にしていく。

【情報管理部】

- ・Wi-Fiの環境整備完了。
- ・5月末にタブレットの導入開始。

【各学科】

- ・各科で地域の団体や企業と連携できる術を模索していく。

【各学年】

- ・3学年→進路達成が大きな目標。

5 意見交換

副校長より情報提供

- ・生徒数の減少が著しい。県の「魅力化促進事業」の指定校となっている他、釜石市との取り組み、また電気電子科では中学校への出前授業を実施しており、高校の魅力化発信につなげていきたい。
- ・学習評価改善の為、観点別評価の実施、ICTを活用した授業の実施の推進。
- ・教員の多忙化・長時間勤務の見直し。

評議委員より質問

- ・部活動について、大会に出場する際、他校との合同チームを認めているようだが、成績も合同のものになるのか？

→現在、商工は女子バスケットボール部(が大槌高校)と女子ソフトテニス部が(宮古

水産と) 合同チームで出場しており、いずれの競技も合同チームの高校との成績となっている。

- ・部活動の統廃合について、方向性を早急に決めるべきではないか。
- 部活顧問会議で、釜石高校と大槌高校との合同チームは認めている。その他の合同チームについては、その都度協議しながら決めていく予定。
- また、ラグビー部や空手道部、なぎなた部といった本校で強化をしている部活動については、存続していく方向。
- ・4月～6月で求人動きについて何かわかったことはあるか。
- 来客対応できる企業を市内と限定している為、すべてがわかるわけではないが、昨年と求人は変わらない様子。
- 企業見学や面接など、生徒が実際現場に出向くことなくリモートで行われ、採用されるケースが昨年何件かあったが、早期離職につながらないか心配。

評議委員よりご意見

- ・→商工新聞を発行しているようなので、駅にスペースを設け掲示するなどしてはどうか。
- 住田高校の生徒さんが、通学で使用する有住駅の虫取りや除雪、クリスマスの装飾をしてくれていた。そのような形での地域とのつながりもある。
- ・→昨年はコロナの影響で、行事等1つも実施できず申し訳なかった。今年は何か活動をでき来たらと考えている。
- ・→水産共同組合で、商工生から、水産加工の現場で幹部候補として働いていれる人材を探しているようだ。
- ・→昨今、就職難でないため、就職につくことは難しくないが、その後早期離職をする生徒が多い。ちょっとしたことで傷ついてしまったりすると仕事を辞めてしまうようだ。在学中より、強い心を持てるような生徒たちに育てて欲しい。

6 閉会の言葉